

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 晴海客船ターミナル

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和3年度

項 目	評価内容
二次評価	A
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・東京 2020 大会期間中、施設のレイアウト変更や設備工事を柔軟に実施した。 ・大会に備え、組織委員会や臨港消防署、月島警察署、海上保安部と連携し、防災・防犯対策を強化した。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設閉鎖に伴い、フォトギャラリーのオンライン開催や期間限定での外構部開放、ターミナル来場特典として記念はがきのプレゼントを行うなど、サービス向上に取り組んだ。また、施設閉鎖について、SNS やホームページ等を活用し、効果的に PR をした。 ・大会期間中、施設が選手村の事務局である NOC/NPC センターとして利用され、組織委員会の要望も踏まえ、全面的に貢献した。 ・大会関連施設として、清掃回数の増加や清掃エリアの拡大など、衛生管理のより一層の徹底に努め、新型コロナウイルス感染症対策に徹底して取り組んだ。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会選手村の治安対策強化のため、関係者と綿密な連携を図るとともに、組織委員会による防犯・防災の取組にも、様々な支援を通じて貢献した。また、大会期間中、施設が選手村の事務局である NOC/NPC サービスセンターとして利用され、組織委員会の要望も踏まえ、警備、設備管理、清掃など管理全般を通じ、大会に全面的に協力した。また、施設が老朽化している中、雨漏り等の対応に迅速にあたった。さらに、施設閉鎖に伴う各種イベントを行うなどサービス向上にも取り組み、SNS やホームページ等を活用することで、効果的な情報発信を行った。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な施設管理を行うとともに、東京 2020 大会に向けた各種工事や関係者調整等について、柔軟に対応している。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 有明客船ターミナル、有明小型船発着所浮棧橋

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和3年度

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・施設の現況に応じた清掃や修繕等を計画的かつ適切に実施し、LED化を進めるなど、施設の維持管理の一層の適正化を図った。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、下船時に乗客が嘔吐した場合の措置方法の訓練実施や対応に必要な備品を配置するなど、一層の安全対策に取り組んだ。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を感じさせる風鈴回廊の展示や、待合所に一人用のデスクや椅子を設置するなど、コロナ禍における感染防止を踏まえつつ、サービスの向上に積極的に取り組んだ。 ・船舶の魅力や東京の水辺の魅力の動画を作成して放映するとともに、クルーズ客船の映像を放映してクルーズの魅力を発信したり、都の社会科見学船の受入れについても、徹底した感染防止対策のもと、前年度の倍以上の47校を受け入れるなど、都の事業に積極的に協力した。
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉館期間も活用し、積極的に修繕や点検等を行っている。また、舟運やクルーズの魅力を発信したり、都の社会科見学船を昨年度の倍以上受け入れるなど、都の事業に積極的に協力した。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な施設管理や積極的な情報収集等を行っており、東京2020大会に向けた施設の利用調整等において、柔軟に対応できる体制が整えられている。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 青海客船ターミナル、青海小型船発着所浮棧橋

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和3年度

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。・日常点検・対応処理の記録及び緊急時のマニュアル等が整備され、緊急連絡体制も整っており、適切と認められる。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・舟運事業による船舶の受入れ対応等を行うほか、クルーズ船のクルーズパンフレットを設置する等、都の施策に協力した。・消毒液の設置や定期的な換気、ドアノブ等の消毒など、新型コロナウイルスの感染症対策を適切に実施した。
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の老朽化を踏まえ、修繕や点検等を適切に行っている。また、コロナ禍においても可能な限りの感染対策を講じ舟運船舶を受け入れるなど、都の施策に積極的に協力している。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none">・安定的な施設管理や積極的な情報収集等を行っており、東京 2020 大会に向けた施設の利用調整等において、柔軟に対応できる体制が整えられている。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対 象 施 設： 竹芝客船ターミナル、竹芝小型船発着所浮棧橋

指 定 管 理 者： 東京港埠頭・テレポートセンターグループ

評 価 対 象 年 度： 令和3年度

項 目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき、施設の警備、清掃等適切に履行されている。 ・施設の損傷の補修と不具合等の解消のため、防水や照明の補修、熱感知器の交換、ボーディングブリッジ操作盤ディスプレイの更新を実施するなど、施設の安全性の一層の向上に貢献した。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの館内装飾の演出や、関係各所と連携して島しょ振興に寄与するPRを実施するとともに、掲示板やデジタルサイネージの増設、運行状況等の配信サービスや英語による多言語表記を行うなど、利用者サービスの向上に向けて取り組んだ。 ・小笠原観光協会等と連携し、PCR 検査陰性者へのリストバンド配布の実施や、島しょ部へのワクチン輸送にあたり、取材対応や輸送中の状況監視を行い、新型コロナウイルス感染症対策として島しょへの安全なアクセスに貢献した。 ・対岸に位置する晴海ふ頭の選手村周辺海域の警備強化を受け、テロ対策のために立哨警備を実施した。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹芝客船ターミナルは、合築施設と一体となった、他にはない施設運営が求められる中、テナント事業者、島しょの各自治体、その他関係機関とも連携、協力しながら、島の玄関口としての役割を十分に認識したうえで、新型コロナウイルスの感染予防対策を図りながら、管理運営業務を着実に実施した。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切に管理・調整がなされ、都及び合築建物の事業者、船社などとの各種調整を行い支障なく事業を実施した。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 岸壁・運搬給水施設
 (竹芝ふ頭船舶給水施設外7施設)

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和3年度

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・給水作業に必要な資器材の更新を積極的に実施するとともに、船舶給水基地の手すりの補修や、既存照明のLED化や増設を進めるなど、作業の安全性・効率性の向上を図った。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・給水作業の様子を撮影し、動画を編集して指定管理者HP等で公表し、船舶給水事業のPRに努めた。 ・東京2020大会のため、給水利用件数が大幅に増加したほか、給水を利用する企業・機関にアンケートを実施した結果、回答内容や自由意見欄から顧客満足度が前年度より上昇傾向にあることが見受けられる。 ・東京2020大会期間中、警備船への給水オーダーを多数受けたため、事前に打合せを行い、メール等で密に連絡を取りながら、他の船舶への給水オーダーにも支障が生じないように調整を行った。
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時等を想定した運搬給水船や岸壁給水施設を活用した実地訓練を行うほか、必要な修繕、給水作業のPR、東京2020大会時における給水オーダーの円滑・着実な処理のための調整を行うなど、責任感をもって取り組んでいる。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な施設管理を行うとともに、東京2020大会中も着実に業務を遂行するなど、適切に対応している。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対 象 施 設： 公共外貿コンテナふ頭施設等
 （品川ふ頭外貿岸壁外 3 施設及び中央防波堤外側ふ頭棧橋（Y 1））
 指 定 管 理 者： 東京港埠頭株式会社
 評価対象年度： 令和 3 年度

項 目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画に基づき適切な管理が行われている。 ・緊急時のマニュアル等が整備され、緊急時対応の訓練も実施されており、防災等への配慮もなされている。 ・必要な修繕等を行った上で計画額を上回る納付額となっている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶代理店や港湾運送事業会社と連絡を密にとり、迅速かつ適切に係船調整を行うとともに、効率的な荷役作業となるよう背後施設と定期的に運用している。 ・点検結果を踏まえた適切な維持補修を実施している。また、利用者へのアンケート調査を実施し、要望の把握及び対応に努めている。 ・青海・中防 Y 1 バースでは運用マニュアルに基づき、一定規模までの船舶の係留を可能にしている。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京 2 0 2 0 大会に向け、国際港湾施設を対象として開催されたテロなどの有事を想定した保安訓練に参加し、安全・安心な開催に備えるとともに、コンテナふ頭における保安対策の一層の強化と物流の安定に貢献した。 ・青海・中防 Y 1 バースでは、隣接バースとの相互融通を行うことで効率性を発揮し、良好な運営を図っている。 ・Y 1 バースにおける船舶座礁事故発生時には、指定管理者所有の A 3 バースへ一時的に係留を許可し、物流停滞防止に貢献した。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都が所有する対象施設（岸壁・棧橋）と物理的に連続する背後の荷さばき施設（ガントリークレーン・ヤード等）を引き続き所有し、一体的に管理運営できているとともに、外貿コンテナふ頭（岸壁、棧橋・荷さばき施設等）の管理運営実績と活用可能なノウハウを有している。

東京国際クルーズふ頭指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 東京国際クルーズふ頭

指定管理者： 東京国際クルーズターミナルグループ

評価対象年度： 令和3年度

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<p>○基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。</p> <p>○東京 2020 大会時等において、24 時間体制での有人警備対応や巡回回数の増加などの警備強化を行った。</p> <p>○当初事業計画の回数（年 4 回）を上回る回数（年 12 回）の窓の清掃や計画外の清掃の実施など、美観の保持及び施設の清潔感の向上に努めた。</p> <p>○強風時のデッキ部閉鎖に係る基準の策定など、施設の安全利用のための対応の整理や、地震発生後における連絡橋上の鉄板の速やかな補修による早期復旧など、施設・設備の安全性の確保と一層の向上に取り組んだ。</p>
事業効果	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、客船寄港数が予定より大幅に減少する中、イベント設営への積極的な協力や年間 100 件以上のロケハンへの丁寧な対応を行い、施設の積極的な利活用を図った。</p> <p>○イベント事業者向けマニュアルの更新・整理に加え、利用時間の調整や通信環境の整備など、利用者のニーズを踏まえた柔軟な対応により施設の使いやすさの向上に努め、利用者の獲得につなげた。</p> <p>○ドイツ軍艦バイエルン寄港時において関係者調整を綿密に行い万全の受入体制を整えたほか、ユニークベニューショーケースイベントの開催等、都の実施策に積極的に協力し、また、都と連携しながら新型コロナウイルスの感染状況に応じた閉館等の要請に迅速かつ柔軟に対応した。</p>
その他	<p>【その他特記事項】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い客船寄港数が予定より大幅に減少する中、円滑な客船受入調整のみならず、イベントや撮影等に対して丁寧かつ柔軟な対応を行ったことにより、多くのイベントや撮影等が実施され、施設の利活用に大きく貢献した。</p> <p>○東京 2020 大会を始めとする各種イベント等において、都や関係機関との調整に尽力した。</p>

海上公園指定管理者 管理運営状況等

< 二次評価（案） >

東京臨海副都心グループ

（東京都立お台場海浜公園外10公園）

令和4年7月28日

指定管理者名	東京臨海副都心グループ
--------	-------------

項 目	評 価 内 容	
二 次 評 価	東京都立お台場海浜公園	A
	東京都立シンボルプロムナード公園	S
	東京都立青海中央ふ頭公園	B
	東京都立暁ふ頭公園	B
	東京都立青海緑道公園	B
	東京都立青海北ふ頭公園	B
	東京都立青海南ふ頭公園	B
	東京都立水の広場公園	B
	東京都立有明西ふ頭公園	B
	東京都立東八潮緑道公園	B
東京都立有明北緑道公園	B	
管 理 状 況	<p>東京2020大会では、お台場海浜公園がトライアスロンなどの競技会場として利用され、また、シンボルプロムナード公園には聖火台が設置されるなど、主要施設の一つとなった。そのため、都や組織委員会をはじめとする多くのステークホルダーと利用調整を丁寧に行うとともに、基準を上回る管理を実施し、大会会場として相応しい環境を整備した。</p>	
事 業 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルプロムナード公園では、「花と緑のおもてなしプロジェクト」として造園・園芸団体や近隣企業、学生等のボランティアと協働して一年を通じて様々な種類の花で公園を彩ることで、臨海副都心の賑わいを創出した。特に、東京2020大会開催に向けて、大会イメージカラーの紅と藍を用いたアートガーデンや大会マスコットのミライトワとソメイティを花で彩ったマスコットガーデンを整備し、2020大会の華やかな空間を演出した。 ・東京2020大会開催に当たっては、コロナ禍による1年延期や観客の有無が直前まで決まらない状況の中で、準備段階から大会期間中の運営、大会終了後の原状復旧まで都や組織委員会と緊密に連携し、大会の成功に大きく貢献した。 	
そ の 他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都が主体となって進める臨海副都心開発において、引き続き、海上公園はまちの中核・骨格として、地域全体を結びつける公共空間であるとともに、賑わいづくりと防災のための空間として機能させることとしている。 ・東京臨海副都心グループは、行政のパートナーかつ地域の活動主体としての機能を兼ね備えた団体として、都や地元区と連携の下、東京臨海副都心まちづくり協議会に参画して関係者との総合調整、イベント実施、防災能力向上、MICE・国際観光拠点化の推進等を行うなど、その特性を十分発揮している。 	

海上公園指定管理者 管理運営状況等

< 二次評価（案） >

東京港埠頭株式会社

（東京都立辰巳の森海浜公園外6公園）

令和4年7月28日

指定管理者名	東京港埠頭株式会社
--------	-----------

項 目	評 価 内 容	
二 次 評 価	東京都立辰巳の森海浜公園	A
	東京都立晴海ふ頭公園	
	東京都立春海橋公園	B
	東京都立辰巳の森緑道公園	A
	東京都立夢の島緑道公園	B
	東京都立新木場緑道公園	B
	東京都立新木場公園	B
管 理 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者が多い辰巳の森海浜公園では、来園者が快適に過ごせるよう、都の基準を上回る園地管理を実施し、その結果、来園者アンケートにおいても利用者から高い評価を得ている。 ・辰巳の森海浜公園のラグビー練習場では、東京2020大会のラグビー練習会場として、円滑な利用者調整に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、ニュースポーツ施設、駐車場の利用を一時休止し、問合せ等に対応した。また、バーベキュー施設では、利用人数の制限を設け、安全管理を徹底した。さらに、大人数で飲食をしているグループに対する声掛けや注意看板を設置するなど、都と緊密に連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した。 	
事 業 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・辰巳の森海浜公園では、各種施設の利用申し込みのデジタル化を推進するとともに、QRトランスレーター（スマートフォンを用いた多言語施設紹介）の導入により、誰もが利用しやすい環境づくりに努めた。 ・辰巳の森緑道公園では、「辰巳画廊」へ地元の保育園の園児による作品の展示に加え、地元小学校の屋外授業の講師として参加するなど、公園の更なる賑わいと地域住民の憩いの場となる取組を行っている。 ・コロナ禍により遠方への外出が抑制されていることから、エリア内を連結する緑道公園のサイクリングコースをより多くの方に知ってもらうため、見どころを写真付きで紹介したサイクリングマップを臨海副都心マップへも掲載し、2万枚を配布した。 	
そ の 他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの公園管理経験や知識を活かし、東京2020大会開催に協力し、その影響下でも海上公園事業を滞りなく行っているため、特命要件を継続している。 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会開催に当たっては、コロナ禍による1年延期や無観客開催などの状況の中で、大会前の準備段階から大会期間中の運営、大会終了後の原状復旧まで都や組織委員会と密に連携し、大会の成功に貢献した。 ・都の新型コロナウイルス感染症対策の取組に協力し、これまで実施している対策（検温消毒、飛沫防止パネル設置など）に加えて、園内放送や声掛け、掲示板による路上飲み自粛の呼びかけを行うなど、様々な対策を実施した。感染症対策で中止になったイベントもあったが、オンライン配信などにより代替のイベントを実施し、コロナ禍でも積極的な利用者拡大を図った。 ・都のキャッシュレスの取組に協力し、公園事務所や売店で使用できるブランドを22社増やすことで、来園者の利便性向上を図った。 	

海上公園指定管理者 管理運営状況等

< 二次評価（案） >

若洲シーサイドパークグループ

（東京都立若洲海浜公園）

令和4年7月28日

指定管理者名	若洲シーサイドパークグループ
--------	----------------

項目	評価内容	
二次評価	東京都立若洲海浜公園	S
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場は開場から30年経過し、ごみ地盤特有の現象であるガス発生等によりグリーン品質低下が見られ、都委託の改修工事を行っている。工事期間中も仮設グリーンを設置し営業を続け、丁寧な事前説明やきめ細かいグリーン管理を行い、プレーの不自由さやコースクオリティの低下を生じさせない高い利用者満足度を維持した。 ・WEB予約導入による利便性向上やコロナ禍の影響で「とりあえず予約」による直前キャンセルが増加していたが、頻度の多い利用者への利用制限を導入するとともに、直前キャンセル発生の際にはSNSで空き状況の周知や、ウォークイン利用者に対するカート代無料サービス等を実施し、利用機会の創出に取り組んだ。 ・海釣り施設では、新型コロナウイルス感染症の影響による釣り人気の高まりで、釣り客が大きく増加したため、巡回回数を増やすとともに、ホームページやSNSでの情報発信の頻度を高め、適正利用に努めた。また、都の要請に基づき海釣り施設を臨時休止した際には、多くの問い合わせに対して適切に対応した。 	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽にプレーでき特に女性に人気のセルフプレーを通常営業日にも設定し、直前キャンセル等で空いたキャディー付きプレー枠をセルフプレーに変更する等、利用者数増加に取り組んだ。 ・アンケートで薄暮プレーの拡大を望む声が非常に多くあったため、平日設定であった薄暮プレーを令和4年3月から土日祝日にも拡大し、利用者ニーズに応えた。 ・プロによる初心者向けゴルフ相談会を新たに実施し、140名から相談があった。また、女性向けに更衣室のアメニティやプロショップの商品を充実させるなど、女性ゴルファーの利用促進を行った結果、令和3年度は10,873名（前年度比1.8倍）の利用があった。 	
その他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの公園管理経験や知識を活かし、東京2020大会開催に協力し、その影響下でも海上公園事業を滞りなく行っているため、特命要件を継続している。 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会でトライアスロン競技の公式練習会場として使用された際には、大会前の準備段階から練習会場使用期間中の管理、大会終了後の原状復旧まで都や組織委員会と密に連携し、公園利用者への影響を最小限にとどめながら円滑な大会運営に協力した。 	

海上公園指定管理者 管理運営状況等

< 二次評価（案） >

東京港野鳥公園グループ

（東京都立東京港野鳥公園）

令和4年7月28日

指定管理者名	東京港野鳥公園グループ
--------	-------------

項目	評価内容	
二次評価	東京都立東京港野鳥公園	S
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都の基準を上回る園内管理を行っており、良好な環境を維持している。また、自然生態園雑木林にて、開園以来行われていなかった萌芽更新の3か年計画を策定し、初年度は10本の老木を新たな樹木に入れ替えることにより、園内の環境向上に努めた。 ・窓口においては、イベント情報、鳥情報、その他自然情報など来園者の視点に立ち日々新たな情報を提供した。アンケートの結果は4段階評価で「受付スタッフの対応」が平均3.9と非常に高い。 	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月より運用を開始した年間パスポートについて、令和3年度は847枚販売し令和2年度と比べて販売枚数が約17%向上し、多くのリピーターを獲得している。 ・新型コロナウイルス対策による臨時休園期間を利用し、老朽化していたベンチやテーブルを直営でリニューアルしたほか、AR技術を用いてスマホをかざすだけで公園で観察できる野鳥の解説を確認できるようにするなど、来園者の満足度向上につながる取組を積極的に実施した。 ・新型コロナウイルス感染防止対策として、閉園した期間もあったが、オンライン配信による代替イベントを実施するなど、コロナ禍においても利用者拡大を図った。 	
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策により、緊急事態宣言の期間を含む約5か月を休園した。前年度も同様に約5か月間休園していたが、感染防止の観点からの近隣公園の人気の高まりや子供連れの家族の利用の増加などの外的要因に加え、閉園中のオンライン配信や施設の修繕・ARの導入などの開園に向けた地道な努力により、年間の来園者数は前年度から約25%増加した。過去3か年平均からは約15%減少したが、開園していた7か月間（6～12月）の利用者数（大型イベント参加者数を除く。）と比較すると、前年度から約14%増加し、過去3か年平均からは約22%増加した。 	

海上公園指定管理者 管理運営状況等

< 二次評価（案） >

アメニス海上南部地区グループ

（東京都立大井ふ頭中央海浜公園外14公園）

令和4年7月28日

指定管理者名	アメニス海上南部地区グループ
--------	----------------

項目	評価内容	
二次評価	東京都立大井ふ頭中央海浜公園	B
	東京都立城南島海浜公園	A
	東京都立品川北ふ頭公園	B
	東京都立コンテナふ頭公園	B
	東京都立みなとが丘ふ頭公園	B
	東京都立東海ふ頭公園	B
	東京都立京浜島ふ頭公園	B
	東京都立城南島ふ頭公園	B
	東京都立京浜島つばさ公園	B
	東京都立京浜運河緑道公園	B
	東京都立大井ふ頭緑道公園	B
	東京都立東海緑道公園	B
	東京都立京浜島緑道公園	B
	東京都立城南島緑道公園	B
東京都立芝浦南ふ頭公園	B	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・15公園を一元的に管理する統括チームを設置した運営体制により、多くの公園を管理しているにもかかわらず、機動的に対応しており、利用者からの苦情・要望にも柔軟に対応した。 ・大井ふ頭中央海浜公園では、東京2020大会の開催や大会後の復旧工事の影響で施設利用の制限などが発生したが、園内の案内掲示や窓口での案内を適切に行った。 ・城南島海浜公園では、新型コロナウイルスの影響で施設の休止と再開を繰り返したが、約3,500件もの予約済みの利用者への個別連絡やホームページでの周知を行うなど案内を適切に行った。 ・品川北ふ頭公園では、近隣住民から苦情が寄せられたバイクの違法駐輪について、巡回の頻度を高めるとともに注意喚起看板を設置するなど適切に対応した。 	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・城南島海浜公園は、特に園内の樹木や草花の手入れを丁寧に行っており、利用者の総合満足度が高い。 ・大井ふ頭中央海浜公園にある、なぎさの森の清掃や植栽活動を行う「なぎさの森おーいボランティア」では、コロナ禍で近隣の自然に足を運ぶ方が増える中で、来園者への周知や定期会報の発行を通じて評判が広まった結果、延べ参加者数が令和2年度の約8.5倍の1,085名となった。若年層の参加者増による多世代交流が生まれており、活動の活発化が期待される。 	
その他	<p>【特命要件の継続】 これまでの公園管理経験や知識を活かし、東京2020大会開催に協力し、その影響下でも海上公園事業を滞りなく行っているため、特命要件を継続している。</p> <p>【その他特記事項】 ・都のキャッシュレスの取組に協力し、利用料の電子マネー及びクレジットカード収納で利用できるブランドを拡大し、来園者の利便性を向上させた。</p>	

海上公園指定管理者 管理運営状況等

< 二次評価（案） >

葛西海浜公園 パートナーズ

（東京都立葛西海浜公園）

令和4年7月28日

指定管理者名	葛西海浜公園パートナーズ
--------	--------------

項目	評価内容	
二次評価	東京都立葛西海浜公園	A
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにおいて意見が多かったトイレの利用環境に関して、専門業者による特別清掃や壁の塗り替え工事を実施し、改善を図った。 ・砂浜を毎日清掃し、漂着ごみ約23立米、流木約4.7tを回収し、来園者が安心して楽しめる環境づくりを行った。また、回収した流木をベンチに再利用するなど、資源の有効利用に取り組み、来園者の好評を得た。 ・公園管理に来園者の声を反映させるために、積極的に声掛けなどを行い、アンケート516枚（令和2年度比約500%）を収集した。アンケート記入にご協力いただいた方に紙製オリジナルボールペンをプレゼントすることで、公園のPRを行うとともにペンの使いまわしによる新型コロナウイルス感染を防止した。 	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマークやホームページ、パンフレット、園内の掲示、スタッフの制服などを海浜公園らしい青色に統一することで、葛西海浜公園のブランディングによる知名度向上に取り組んだ。 ・ラムサール条約湿地に登録されている干潟の保全のため、パークレンジャーと連携して地域住民や公園利用者とともに鳥類、植物、水生生物に関する調査や保護区の設置といった干潟を守り、活用する取組みをした。具体的には、凧揚げ体験会、海水浴体験、野鳥観測会、ラムサール条約3周年記念イベントを行い、新型コロナ対策を行いながら積極的に行い、利用者拡大を図っている。 	
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野鳥や魚類などの情報を掲載したセルフガイドシートの配布を行ったほか、季節ごとに見られる魚類の解説写真を掲示するなど、来園者が滞在中に楽しめる情報の提供を行った。いずれも多く来園者に好評を得た。 ・年間の来園者数は前年度から約10%増加し、過去3か年平均からも約6%増加した。 ・西なぎさ案内所等における窓口対応について、来園者アンケートの結果が4段階評価で平均3.8と高い。 ・メディアへの露出回数を増やす取組として、広大なラムサール条約湿地を含む海浜公園としての特性・立地や公園の魅力を伝えるパークレンジャーの存在を活かして取材対応を積極的に行っており、対応件数が前年比の倍以上となっている。 	

空港の指定管理者に係る二次評価

○施設名：東京都八丈島空港

○指定管理者名：八丈島空港ターミナルビル株式会社（特命）

○指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

○令和3年度評価結果：下表のとおり

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・年間事業計画のとおり、適切に管理が行われている。・業務マニュアルの充実化を図り、人材育成に努めている。・空港の保安対策としての各種対応訓練を実施し、安全性の確保に努めている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・従来のホームページに加え、SNSを活用した空港の情報発信の開始により、空港への理解促進に努めている。・利用者アンケートにより、概ね高評価を得ている。

漁港施設の指定管理者に係る二次評価

- 施設名：二見漁港棧橋（1）外8施設
- 指定管理者名：小笠原島漁業協同組合（特命）
- 指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
- 特記事項：利用料金制
- 令和3年度評価結果：下表のとおり

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・施設の清掃、警備等が適正に行われている。・漁港管理条例等法令の遵守が徹底されている。・台風の発生に対しても、接近前に養生・被害対処の呼びかけを行い、通過後にも巡回、被害点検及び清掃を迅速に行うなど、施設内の安全確保に努めている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・利用者案内の作成、配布をはじめ、施設の適正利用についての周知が行われ、漁港機能との共存が図られている。・毎年度3月にアンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めている。また、利用者の声に基づき施設の利便性向上に努めた結果、利用者の約9割が満足と回答している。